

情報連絡員だより

－平成29年5月分の報告より－

苦戦が続き、厳しい経営環境に拍車

業種 / 景況天気図		概況
全	体	GWの好影響がさほど見られない中、一部を除いては、受注や売上の低迷が続いており、苦戦を強いられる場面が目立っている。また、慢性的な人手不足と、それに伴う生産性の低下等で、経営環境は一段と厳しくなっている。さらに、OPECの減産延長や原材料高等で、今後も厳しい状況が続く見通しとなっている。
製 造 業	食 料 品	パンはGWや気温上昇の影響で、観光地を除くベーカリーは苦戦している。菓子は比較的良好に推移し、ほぼ前年並みとなる。酒造は純米酒・純米吟醸酒は好調に推移する反面、普通酒の売上が大幅に落ち込んでいる。食肉はと畜頭数が豚・牛ともに増加する中、豚肉相場が高値で推移したことで、売上増加となる。
	織 維 ・ 同 製 品	桐生織物は婦人服地の秋冬物の受注や、需要拡大による中国向けの輸出増加に期待している。伊勢崎織物は伊勢崎銘仙の認知度が高まるものの、売上増加には結び付いていない状況。ニットは春夏ニットの売上が伸び悩む中、秋冬用のサンプル作成を前倒しで行っており、今後若干の期待感を抱いている。
	窯 業 ・ 土 石 製 品	生コンは前橋や高崎地区が伸び悩んだものの、山間部等の地域では順調な出荷となる。コンクリートブロックは一部企業において、品質向上等を目的とした大規模な設備投資が散見され、今後、製造数量の増加が見込まれる。砕石は景況感が上向かない状況の中、全体としては横ばいで推移している。
	機 械 ・ 金 属	SUBARUをはじめとする自動車関連企業を中心に好調が続いている。しかし、その一方で、人手不足や稼働率の低下による人件費ロスなどの雇用問題が散見される。鍍金は金属・薬品等の材料価格が上昇傾向にあるも、輸出向けの自動車関連部品の好調が続いている。他方で、採用活動を行っても人材確保が難しい状況。
	そ の 他 の 製 造 業	木材は「原料高・製品安」が続く中、人手不足により生産性が低下している。紙加工品はGW明けの需要が伸び悩む中、宅配運賃の上昇が業界に及ぼす影響を引き続き注視している。印刷は例年以上の受注の落ち込みや、原料高等によるコスト負担増で、経営環境が一層厳しさを増している。
非 製 造 業	卸 売 業	高崎卸はショッピングサイトのリニューアルや専用アプリの開発等による機能強化を推進している。内装資材卸は人手不足が深刻化している。農産物卸は根菜類の品薄が解消し、ほぼ例年並みに推移している。水産物卸は売上が若干減少となる中、今後の気温上昇による大幅な売上の落ち込みを懸念している。
	小 売 業	燃料小売は末端価格の上昇傾向で売上増加となるも、OPECの原油減産の延長による、今後の原油価格の上昇を不安視している。生花小売は「母の日」をはじめとする物日で、都市部や大型店舗は好調も、地方や路面店の客足が伸び悩んでいる。商店街は苦戦が続く中、イベントやセール開催等で客足増加を図っている。
	サ ー ビ ス 業	温泉旅館はGW中の入込増が見られる一方で、その他の時期は伸び悩み、全体としては前年並みとなる。不動産取引は桐生・みどり市域において、大手業者のアパート乱立で市場が飽和状態となり、地元のアパート経営者が苦戦を強いられている。建築設計は空き家の改修や施設のリノベーション等への対応を進めている。
	建 設 業	電気工事は一部企業において、中堅の現場作業員が減少しており、業務全体の管理や作業員の確保に苦慮している。塗装工事は売上が若干増加するも、法定福利費の支払等で利益は減少傾向にある。鉄構は企業間の工事量にバラツキが見られる中、工期や工程の遅れが目立っている。
	運 輸 業	GWによる稼働日の減少等で、荷動きは低調となる。燃料価格の上昇傾向は一段落したものの、OPECの減産延長に伴う今後の値上がりを危惧している。高速道路の利用機会が増加する中、車両制限令の遵守に一層注力。小型運送は医薬品の配送先が新たに増えたことで、売上が増加している。